

## 永源寺のカシ

永源寺は須賀川長祿寺の末寺として永祿元年（1568）に建立。境内にそびえるカシの木は、推定樹齢400年といわれ、建立時に植えられたもの。高さ21m、周囲3.7mの古木です。



## 高林のカヤ

樹齢400年、高さ15.5mのカヤの木は、かつて高照寺及び長徳寺を開いた旧高林村の館主高林五郎左エ門（天正17年伊達政宗に滅ぼされる）がこの地に植えたものと伝えられています。



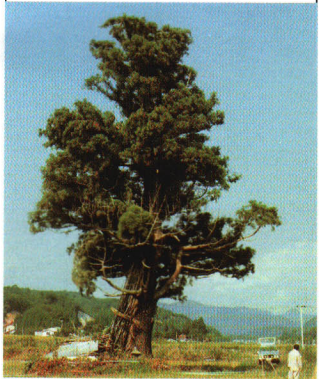
## 小川のヤマモミジ

樹齢300年、高さ14mのヤマモミジの古木。秋には美しい錦を見せるこの木は、地上30cmから2mの間で幹が絡みあっており、珍木として地元の人々に親しまれています。周辺には墓標が点在。



## 権現杉

水田地帯に1本だけポツンと自生している古木。地元では権現杉と呼ばれ、親しまれています。推定樹齢300年。木の傍らには地藏様が祀られ、「鼻取りじぞう」というほえまじい民話が残されています。



## 牛ヶ城の森

この地方の城跡として有名な牛ヶ城は桑名因幡の居城で、伊達政宗と戦った古戦場です。当時の牛ヶ城周辺の森は、今もなお、うっ蒼と茂り、かつての面影をしのべます。



## お葉付イチョウ

藤原鎌足が鹿島へ下る途中、当地を訪れて武隈神社に神領を寄進し、その後この木が植えられたと伝えられています。この木は、お葉付イチョウといわれ、葉の先端にギンナンが実る珍樹として有名です。



## 大方寺のキャラボク

大方寺は、牛ヶ城跡や大里地区が望める閑静な場所にあります。寺の境内にあるキャラボクは、推定樹齢300年。寺の開山とともに植えられたものといわれ、太い幹にはその歴史が刻まれています。



## 千手観音堂のヒイラギ

千手観音堂は明暦2年（1656）、添田家が危害除けの氏神として建立しました。この境内にそびえるヒイラギの古木も村の緑の文化財の一つに指定されています。樹齢300年、高さは20mにもなります。

